

課題名	19 果樹病害虫の薬剤抵抗性(耐性)対策	分類	①
	薬剤抵抗性ミカンハダニに効果の高い殺ダニ剤		
試験研究年次	61～2年(完了)		
I 目的			
殺ダニ剤として防除効果が高かったニッソラン剤や、オサダン剤に抵抗性のミカンハダニが出現したので、抵抗性系統に効果の高い薬剤を探索する。			
II 試験方法			
1 オサダン剤抵抗性ミカンハダニ—1			
(1)試験場所 農総試験場内			
(2)供試品種・樹齢 早生温州 6年生			
(3)試験規模 1区1樹3反復(試験2、3共通)			
(4)供試薬剤・濃度 サンマイルト水和剤3000倍、対照:オサダン水和剤3000倍			
(5)処理年月日 61年6月10日			
(6)処理量・方法 動力噴霧機で十分量を散布(試験2、3共通)			
(7)調査方法 1樹当たり25葉上の生存雌成虫数を調査(試験2、3共通)			
2 オサダン剤抵抗性ミカンハダニ—2			
(1)試験場所 古賀町米多比 一般農家圃場			
(2)供試品種・樹齢 早生温州9年生			
(3)供試薬剤・濃度 ダニトロンフロアブル1000倍 対照:オサダン水和剤3000倍			
(4)処理年月日 63年9月13日			
3 ニッソラン剤抵抗性ミカンハダニ			
(1)試験場所 立花町白木 一般農家圃場			
(2)供試品種・樹齢 早生温州6年生			
(3)供試薬剤・濃度 ダニトロンフロアブル3000倍 対照:ニッソラン水和剤3000倍			
(4)処理年月日 2年7月12日			
III 主要成果の概要			
1 サンマイルト水和剤は、オサダン抵抗性ミカンハダニに対して防除効果が高く、6週間程度の残効がある。			
2 ダニトロンフロアブルはオサダン抵抗性及びニッソラン抵抗性ミカンハダニに対して防除効果が高い。残効は1000倍液で6週間、3000倍液で3週間程度である。			

IV 主要成果の具体的データ

第1表 オサダン剤抵抗性ミカンハダニに対する防除効果-1 (61年)

供試薬剤名・倍率	散布前	6日後	10日後	21日後	29日後	41日後	51日後
サマイト水和剤 3000	108	0	0	0	0	1	24
オサダン水和剤 3000	59	25	113	123	83	44	75
無散布	-	61	33	87	145	24	84

注) 数値は 100葉当たりの雌成虫数

第2表 オサダン剤抵抗性ミカンハダニに対する防除効果-2 (63年)

供試薬剤名・倍率	散布前	6日後	11日後	22日後	32日後	42日後
ダニトロンプロアフル 1000	122	0	0	0	1	0
オサダン水和剤 2000	61	7	12	128	172	352
無散布	-	121	35	56	88	379

第3表 ニッソラン剤抵抗性ミカンハダニに対する防除効果 (2年)

供試薬剤名・倍率	散布前	6日後	11日後	22日後	32日後	42日後
ダニトロンプロアフル 3000	153	12	3	8	40	79
ニッソラン水和剤 3000	84	345	269	259	227	256
無散布	-	227	448	248	367	267

V 成果の評価と取扱上の留意点

- 1 薬剤抵抗性ミカンハダニの防除が可能となる。
- 2 4年度福岡県果樹病害虫防除基準に採用の予定である。
- 3 抵抗性系統の出現を遅延させるため、次の点に留意する。
  - (1) 新剤の年間使用回数は1回を厳守する。
  - (2) マシン油剤を組み入れた防除体系とする。

VI 今後の研究上の問題点

薬剤抵抗性ミカンハダニの出現を防止する防除体系の確立

VII 資料名

61年度、63年度、2年度 福岡県農業総合試験場生産環境研究所果樹病害虫関係試験成績書